

2019年2月期 第2四半期 決算説明会

2018年 10月 2日



パレモ・ホールディングス株式会社

1. 第2四半期決算の概要

・業績の概要	P 4
・損益計算書の概要	P 5
・純利益の状況	P 6
・資産、負債及び純資産の状況	P 7
・キャッシュ・フローの状況	P 8
・事業別の状況	P 9
・既存店売上高前年比の状況	P10
・売上総利益率の状況	P11
・直貿商品の状況	P12
・スクラップ&ビルドの状況	P13
・アパレル事業 ブランド別の状況	P14
・雑貨事業 ブランド別の状況	P15

・上期の取組み概況 ①～②	P16
・中期経営計画の進捗状況 ①～④	P18

2. 下期及び今期計画

・今期計画の概要	P23
・下期及び通期数値計画	P24
・下期の施策 ①～②	P25
・アパレル事業 ブランドコンセプト	P27
・雑貨事業 ブランドコンセプト	P28

3. 株主様情報

・株主様構成比	P30
・株主様還元策	P31
・お問合わせ先	P32

1. 第2四半期決算の概要

◆本資料をご覧ください上での留意事項◆

当社は、平成29年8月21日付けで持株会社に移行するとともに、平成30年2月期第3四半期より、連結決算に移行しました。つきましては、本資料「1. 第2四半期決算の概要」に記載の当期実績数値は連結決算後の数値であり、併記してある前期との数値比較は持株会社移行前における(株)パレモ単体数値との比較となります。

(単位:百万円)

	2018/2期 上期実績	2019/2期			
		上期計画	上期実績	前年同期差	計画差
売上高	12,051	12,060	11,808	▲242	▲252
営業利益	667	700	576	▲90	▲124
経常利益	684	710	589	▲95	▲121
四半期純利益	850	600	527	▲323	▲73

売上高前期比 98.0 % (既存店売上高前年比 97.5 %)

売上総利益率 55.9 % (前年同期差 + 0.2 %)

営業費前期比 99.7 % (前年同期差 ▲17 百万円)

出退店 出店:18 店 退店:17 店 (純増:1 店)

損益計算書の概要

(単位: 百万円)

	2018/2期 上期実績	2019/2期		
		上期実績	前年同期差	前年同期比
売上高	12,051	11,808	▲242	98.0%
売上総利益 (売上総利益率)	6,707 55.7%	6,600 55.9%	▲107 +0.2%	98.4% —
営業経費 (営業経费率)	6,040 50.1%	6,023 51.0%	▲17 +0.9%	99.7% —
営業利益 (営業利益率)	667 5.5%	576 4.9%	▲90 ▲0.6%	86.5% —
経常利益 (経常利益率)	684 5.7%	589 5.0%	▲95 ▲0.7%	86.1% —
四半期純利益	850	527	▲323	62.0%

純利益 850 百万円 ⇒ 527 百万円

営 業 利 益	667 百万円 ⇒ 576 百万円
経 常 利 益	684 百万円 ⇒ 589 百万円
特 別 利 益	161 百万円 ⇒ ー 百万円
特 別 損 失	17 百万円 ⇒ 28 百万円
減 損 損 失	12百万円 ⇒ 24百万円 減損店舗数 14店 ⇒ 7店
除 却 損 失	1百万円 ⇒ 2百万円 閉店店舗数 31店 ⇒ 17店 改裝店舗数 5店 ⇒ 5店

※前期特殊要因

- ・退職年金制度変更に伴う特別利益159百万円
- ・繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額(▲109百万円)

資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	2017年8月 期末	2018年2月 期末	2018年8月 期末
総 資 産	10,391	10,381	11,470
商 品	1,583	1,636	1,644
投資その他資産 ※主に保証金	4,530	4,269	4,549
負 債	7,464	7,355	7,949
長 短 借 入 金	1,749	1,964	2,380
純 資 産	2,927	3,025	3,521

純資産 : 3,521百万円 30.7% (四半期純利益 527百万円)

長短借入金 : 415百万円の増加 (期首対比)

キャッシュ・フローの状況

フリーキャッシュ・フロー ▲358百万円 ⇒ ▲199百万円

(単位:百万円)

	2018/2期(上期)	2019/2期(上期)
営業キャッシュ・フロー	▲301	206
投資キャッシュ・フロー	▲57	▲406
財務キャッシュ・フロー	▲850	379
現金及び現金同等物の増減額	▲1,209	180

営業CF 税引前当期純利益 828百万円 ⇒ 560百万円

※前期は退職年金制度変更に伴う退職給付引当金が大幅減少(250百万円)

投資CF 新店18店舗等への投資 有価証券の取得

財務CF 長期借入による資金調達500百万円 配当金 35百万円

売上高構成比 アパレル事業 67.0%⇒65.9% (▲1.1%)

 雑貨事業 30.4%⇒31.8% (+1.4%)

上期 アパレル事業4店舗減、雑貨事業5店舗増(新設店好調)

(単位:百万円、%)

	2018/2期(上期)		2019/2期(上期)		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前期比
アパレル事業	8,076	67.0	7,772	65.9	96.2
雑貨事業	3,663	30.4	3,753	31.8	102.5
その他	311	2.6	282	2.3	88.2
全社	12,051	100.0	11,808	100.0	97.9

既存店売上高前年比の状況

既存店売上高前年比 97.5%（前期は99.8%）

- ・第1Q： 96.5% 春物は寒暖差の影響を受けて低調、GWも苦戦
- ・第2Q： 98.4% 豪雨・酷暑もあり、水着・浴衣など季節商品が苦戦

	3月度	4月度	5月度	第1四半期	
売上高	98.4%	98.9%	92.9%	96.5%	
客数	100.4%	101.3%	98.0%	99.7%	
客単価	98.0%	97.6%	94.8%	96.8%	(単位：%)
	6月度	7月度	8月度	第2四半期	上期
売上高	98.3%	97.3%	99.5%	98.4%	97.5%
客数	103.1%	97.5%	94.6%	98.5%	99.2%
客単価	95.3%	99.8%	105.2%	99.9%	98.3%

売上総利益率 55.7% ⇒ 55.9%

<要因>

アパレル事業 : 春物は気温上昇で販売時期を逃し、鮮度改善が進まず

雑貨事業 : バラエティ雑貨の在庫適正化で、値下げ減少し荒利改善

(単位: %)

	2015/2期	2016/2期	2017/2期	2018/2期	2019/2期
上 期	53.7	54.9	55.4	55.7	55.9
下 期	54.5	54.4	55.8	55.2	—
通 期	54.1	54.7	55.6	55.5	—

直賃商品の状況

直賃 荒利益率 レギュラー商品 前期 57.7% ⇒ 今期 52.3%
 アパレル事業 全体 前期 60.8% ⇒ 今期 55.1%

主力であるカットソー品種の不振により、荒利益率が低下

(単位: %)

		2018/2期 上期累計		2019/2期 上期累計	
		売上構成比	荒 利 益 率	売上構成比	荒 利 益 率
レ ギ ュ ラ ー 商 品 合 計	直 賃	10.6	57.7	10.0	52.3
	そ の 他	89.4	54.8	90.0	54.7
	合 計	100.0	55.1	100.0	54.4
ア パ レ ル 事 業 全 体	直 賃	12.1	60.8	10.0	55.1
	そ の 他	87.9	56.8	90.0	57.3
	合 計	100.0	57.3	100.0	57.1

出店 17店 ⇒ 18店 慎重に物件を精査し、出店継続

退店 31店 ⇒ 17店 不採算店舗の退店が減少

	2017/2期		2018/2期		2019/2期	
	上 期	通 期	上 期	通 期	上 期	通 期 見通し
出 店	1	9	17	27	18	48
退 店	35	88	31	53	17	32
増 減	▲34	▲79	▲14	▲26	1	16
期 末 店 舗 数	540	495	481	469	470	485
店 舗 投 資 額	126	290	281	560	310	870

(設備投資額単位:百万円)

アパレル事業 ブランド別の状況

- ・客層が広く、安定している『Ludic Park』での出店に集中
- ・不採算店舗、定借満了による退店は、今後も一定程度の発生を見込む

	出 店	退 店	変 更	増 減	期末
レギュラー店舗	5	8	0	▲3	264
GAL FIT , SUZUTAN, etc	0	7	▲2	▲9	190
LudicPark,9SQUARE	5	0	1	6	23
Lilou de chouchou	0	0	0	0	9
DAISY MERRY	0	1	0	▲1	3
RecHerie	0	0	1	1	25
DOSCH	0	0	0	0	14
ラージサイズ店舗	0	1	0	▲1	43
アパレル事業 合計	5	9	0	▲4	307

雑貨事業 ブランド別の状況

- ・『illusie300』出店強化、雑貨事業の柱へと成長
- ・『木糸土・Hare no hi』中心に、不採算店舗を整理しながら出店も強化

	出 店	退 店	変 更	増 減	期 末
雑貨事業店舗	13	8	0	5	149
Siebelet	0	2	0	▲2	58
illusie300	9	1	0	8	47
INCENSE	1	1	0	0	31
木糸土・Hare no hi	3	4	0	▲1	13
複合店(※)	0	0	0	0	14
アパレル 雑 貨 事 業 合 計	18	17	0	1	470

(※)複合店は、複数のブランドを併設した店舗です。

1) 基幹事業の競争力強化（永続的安定成長の基礎）

＜アパレル事業（レギュラー業態）＞

- ① カテゴリー・シーズン別MDの精度向上 ⇒ エレガンス系を抑え、クール系・カジュアル系を強化
- ② 修正能力の向上 ⇒ 春物販売期間が予測より短く、初夏品揃えの最適化に課題

＜アパレル事業（ラージサイズ業態）＞

- ① MD安定化、顧客のロイヤルティ向上 ⇒ 在庫過多により、商品鮮度が悪化
- ② ネット販売強化 ⇒ 自社ECサイトの売上拡大、下期ECサイトリニューアル、専用アプリリリース予定

＜雑貨事業（バラエティ雑貨業態）＞

- ① 店舗タイプ別品揃えの精度向上 ⇒ 立地・客層・客数・面積を元に品揃えを再設定し検証実施
- ② 在庫適正化による商品鮮度改善 ⇒ 不振在庫処理、在庫管理手法の改善が進捗（見える化）

2)増収出店拡大とEC販売強化（店舗純増20店舗体制へ）

＜アパレル事業＞

- ① 新ブランドでの出店と改装の拡大 ⇒ 新規3ブランド35店舗に増加（新店5店舗、改装1店舗）
- ② ラージサイズ市場でのシェア拡大 ⇒ 同業他社も拡大基調、当社苦戦（下期よりネット拡大に傾注）

＜雑貨事業＞

- ① イルーシー300中心に出店 ⇒ 上期9店舗出店、好調に推移（下期以降も積極出店）
- ② ライフスタイル提案業態の木系土・ハレノヒ ⇒ MD再編が進行し、スクラップ&ビルドが進捗

3)安定成長に向けた人財の確保、育成

- ① 採用の本格化と人財活性化 ⇒ 新卒・中途採用強化と、配転による人財登用と育成を継続
- ② 店舗での欠員解消への取り組み強化 ⇒ 全社プロジェクトによる取組み継続（人員純増基調）

中期経営計画の進捗状況①

本中期経営計画 数値計画

	15/2期 実績	16/2期 実績	17/2期 実績	18/2期 実績	19/2期（当期）		⇒	21/2期
					当初計画	修正計画	⇒	目標
売上高	31,875	27,302	24,693	23,262	23,600	23,450	⇒	26,200
営業利益	△ 725	136	627	741	770	650	⇒	1,000
営業利益（率）	△ 2.3%	0.5%	2.5%	3.2%	3.3%	2.8%	⇒	3.8%
EBITDA	△ 141	489	752	903	980	840	⇒	1,300
期末店舗数	700店	574店	495店	469店	489店	485店	⇒	530店
中期経営計画		← 前計画対象期間 →			← 現行計画対象期間 →			
収益目標		営業利益 黒字化	当期純利益 黒字化	減収増益	増収増益	増収減益		増収増益

本中期経営計画 基本テーマ

基幹事業の競争力向上

- ・アパレル事業 最適化の追求
- ・雑貨事業 各業態ごとのMD再編
- ・店舗運営力（販売サービス力）向上

成長エンジンの創出

- ・アパレル新規ブランドの育成拡大
- ・雑貨事業好調業態の積極拡大
- ・新規事業（業態）開発、E C 拡大

安定成長に向けた人財戦略

- ・人財の確保（店舗・本部）
- ・人財の育成（教育と積極登用）
- ・人財の活用（シニア、女性の活用）

<アパレル事業>

基幹事業の競争力向上

- ① カテゴリー別MDの最適化 ⇒ エレガンス系の苦戦をクール系、カジュアル系でカバー
- ② 品揃えの最適化 ⇒ 布帛品種の健闘、カットソー、ボトムスの苦戦(トレンド不在時に課題)
- ③ 大きいサイズの事業拡大 ⇒ ルディックパークでの併設展開による拡大が進行

成長エンジンの創出

アパレル新規ブランド



2018/2末現在 店舗数:30店舗 年商:約18億円

育成拡大

2021/2月期 目標

店舗数
⇒100店舗以上
年商
⇒60億円以上

- ・ ルディックパークで上期5店舗出店、改装で1店舗変更。下期も出店拡大が進行予定

<雑貨事業>

基幹事業の競争力向上

- ① バラエティ雑貨業態の店舗タイプ別MDの精度向上 ⇒ 在庫鮮度管理に最優先で取り組む
- ② ライフスタイル提案型業態のリブランディング ⇒ 商品構成の見直しが奏功、好調に推移
- ③ 都心型出店へのチャレンジ ⇒ 木糸土・ハレノヒで都心に再チャレンジ、対応強化

成長エンジンの創出

雑貨事業好調業態



illusic300



2018/2末現在
店舗数:40店舗
年商:約20億円
(前年対比20%増)

拡大加速

2021/2月期 目標

店舗数
⇒70店舗以上

年商
⇒40億円以上

- ・ イルーシー300の拡大が予定以上に進行(上期9店舗出店、1年前倒しで40億円規模に)

<EC(NET通販)事業>



- ① EC拡大に向けた体制整備 ⇒ 拡大本格化に向け、新規採用含む人員体制拡充
- ② 自社ECサイトの再構築 ⇒ サイトの最適化運用と、扱い高拡大に向けた付帯業務の外注
- ③ 自社アプリ運用開始、販促手法の拡大 ⇒ 当面はラージサイズに集中して販促対応強化

<中期経営計画進捗の総括>

- ・ アパレル事業で若干の遅れ、逆に雑貨事業は進捗し、ECは今後拡大予定
- ・ 当期は災害の影響を受けるも、最終年度の目標数値(売上高、営業利益)は変更なし

2. 下期及び今期計画

今期計画の概要

(単位:百万円)

	2018/2期	2019/2期		2018/2期	2019/2期	
	下期実績	下期計画	前年同期差	通期実績	通期計画	前年同期差
売上高	11,210	11,641	+431	23,262	23,450	+188
営業利益	73	73	0	741	650	▲91
経常利益	84	75	▲9	768	665	▲103
純利益	98	▲7	▲105	949	520	▲429

売上高前期比見通し

(既存店売上高前年比)

下期: 103.8%

(100.4%)

通期: 100.8%

(99.0%)

売上総利益率改善

下期: +0.3%

通期: +0.2%

営業経費の前期比

下期: 104.4%

通期: 102.1%

出退店の年間計画

出店: 48店

(前期: 27店)

退店: 32店

(前期 53店)

下期及び通期数値計画

(単位:百万円)

	2018/2期	2019/2期			2018/2期	2019/2期		
	下期実績	下期計画	前期差	前期比	通期実績	通期計画	前期差	前期比
売上高	11,210	11,641	+430	103.8%	23,262	23,450	+188	100.8%
(既存店前年比)	100.3%	100.4%	+0.1%	—	100.0%	99.0%	▲1.0%	—
売上総利益	6,192	6,459	+267	104.3%	12,900	13,060	+160	101.2%
(売上総利益率)	55.2%	55.5%	+0.3%	—	55.5%	55.7%	+0.2%	—
営業経費	6,118	6,386	+268	104.4%	12,159	12,410	+251	102.1%
(営業経费率)	54.6%	54.9%	+0.3%	—	52.3%	52.9%	+0.6%	—
営業利益	73	73	▲0	98.8%	741	650	▲91	87.7%
(営業利益率)	0.7%	0.6%	▲0.1%	—	3.2%	2.8%	▲0.4%	—
経常利益	84	75	▲8	90.2%	768	665	▲103	86.5%
(経常利益率)	0.8%	0.7%	▲0.1%	—	3.3%	2.8%	▲0.5%	—
当期純利益	98	▲7	▲105	—	949	520	▲429	54.8%

1) 基幹事業の競争力強化 (永続的安定成長の基礎)

① アパレル・レギュラー業態

- カテゴリー・シーズン別MDの精度と軌道修正能力の向上 (トレンド対応強化)
- 在庫コントロールによる最適化 (適時・適品・適量) による鮮度改善

② アパレル・ラージサイズ業態

- MD安定化の徹底による在庫鮮度の改善で、顧客信頼度向上
- 雑誌を中心としたプロモーション強化、ラージサイズ専用ECサイト・自社アプリの活用強化

③ バラエティ雑貨業態

- 店舗タイプ別品揃えの精度向上による客層対応で、既存店売上の改善
- 在庫管理手法の見える化により、在庫適正化を推進 (計画的な在庫活性化)

2) 増収出店拡大とEC販売強化 (店舗数純増20店舗)

- ① アパレル事業は、ルディックパークによる出店拡大
 - ルディックパークを中心に、ラージサイズを付加した形での業態転換も拡大
- ② 雑貨事業は、イルーシー300を中心に出店拡大を加速
 - 商品供給、オペレーション、物流体制の整備による対応強化
- ③ EC(ネット通販)販売は、増収体制構築に向けた投資
 - ECサイトのリニューアル、ラージサイズ専用アプリ導入、ECサイト運用人員の補強

3) 安定成長に向けた人財の確保、育成

- ① 人財確保に向けた採用の本格化と人財活性化
 - 定期新卒採用、中途採用強化と、配置転換による幹部育成(地域営業担当、バイヤー等)
- ② 店舗での欠員解消への取り組み強化
 - 全社プロジェクトの継続で推進(応募増加、人員定着のための施策検討と実行)

	ブランド	コンセプト
アパレル事業	Ludic Park	遊び心を程よく取り入れた自分らしいファッションを楽しくセレクトできるショップです。エレガンス・クール・カジュアルまで幅広い客層へ向けた最新トレンドと着まわしのきくベーシックアイテムをお手頃プライスで提案します。
	Lilou de chouchou	いつまでもかわいく輝いていたい女性に向けて、毎日のHAPPYを演出します。エレガンスをベースに程よくトレンドを織り交ぜながらON&OFFあらゆるシーンも自分らしく楽しめる上品で女性らしいファッションを提案します。
	DAISY MERRY	大人の心と少女の心を持ち合わせたいくつになっても可愛くオシャレでいたい女性に向けて・・・可愛いだけでなく、どこかボーイッシュ、ほんのりガーリーと、遊び心を取り入れた今欲しいリアルクローズを手頃なプライスで提案します。
	Recherie	「フェミニン」をキーワードに、ベーシックでリラックス感のある大人のカジュアルスタイルを提案します。
	DOSCH	「クール」をキーワードに、流行に敏感な女性に向けて最新のトレンドファッションを提案します。
	GAL FIT	「フェミニン＆クール」をテーマに、リラックス感のあるカジュアルスタイルとエッジの効いたモードスタイルを提案します。
	s u z u t a n	「エレガンス＆フェミニン」をテーマに、幅広い客層へ最新トレンドと着まわしのきくベーシックアイテムを提案します。
	Re-J	「デイリー＆リラックス」をテーマに、ベーシックアイテムとシーズントレンドを程よくMIXした“大人カジュアル”を提案するラージサイズSHOPです。
	SUPURE LARGE SIZE	「フェミニン＆カジュアル」をテーマに、上品さと着心地を大切にしたラージサイズSHOPです。

	ブランド	コンセプト
雑 貨 事 業	Siebelet	「毎日、楽しく」をテーマに、話題性あるファンシー雑貨と生活雑貨を提案します。
	illusie300	「日常に彩り」をテーマに、300円のプチプライスでライフスタイルを提案します。
	木糸土 makuguta	木・糸・土の素材を活かし、「無理なく、無駄なく」をコンセプトに、シンプルで飽きのこない生活雑貨を提案します。
	Hare no hi hare no hi	「ナチュラルライフ」をテーマに、アパレル、雑貨をトータルにコーディネート。ライフスタイルを提案します。
	INCENSE	「MYBAGを探す楽しさや、見つけた時の喜びを共有できるBAG SHOP」 自分のスタイルを確立した大人の男女に、「オンリーワン」のバッグを提案します。

3. 株 主 様 情 報

株主様構成比

株主様数 6,712名(2017.8.20現在) ⇒ 6,314名(2018.8.20現在)

エンデバー・ユナイテッド社 持株比率 50.1%(2018.8.20現在)

	2017年8月20日			2018年2月20日			2018年8月20日		
	株主数		株式数	株主数		株式数	株主数		株式数
個人株主・他	6,480名	96.5%	32.5%	6,407名	96.4%	32.5%	6,090名	96.5%	33.3%
国内法人	178名	2.7%	51.8%	180名	2.7%	51.6%	175名	2.8%	51.6%
機関投資家	30名	0.4%	15.4%	32名	0.5%	11.2%	29名	0.4%	13.7%
外国法人・個人	24名	0.4%	0.3%	28名	0.4%	4.7%	20名	0.3%	1.4%
合 計	6,712名	100.0%	100.0%	6,647名	100.0%	100.0%	6,314名	100.0%	100.0%

配 当

	2015/2期	2016/2期	2017/2期	2018/2期	2019/2期(予定)
中間配当金	3円	0円	0円	0円	3円
期末配当金	0円	0円	0円	3円	3円
年間配当金	3円	0円	0円	3円	6円

	2015/2期末	2016/2期末	2017/2期末	2018/2期末	2019/2期(中間)
資本金	1,229	1,229	1,229	100	100
資本剰余金	1,433	1,104	1,104	1,979	1,979
利益剰余金他	▲404	▲581	▲256	946	1,440
株主資本	2,258	1,752	2,076	3,025	3,516

※資本金および資本準備金の額を減少し、欠損を填補。(効力発生日:平成29年7月1日) (単位:百万円)

株主優待

300株以上1,000株未満 = 1,000円のクオカード

1,000株以上 = 3,000円相当のカタログギフト

<2018年8月20日現在>

- ・住所 愛知県稲沢市天池五反田町1番地
- ・TEL 0587-24-9771
- ・FAX 0587-24-9710
- ・担当者 <IR担当役員>
専務取締役 管理担当 永井 隆司
E-MAIL T-nagai@palemo.co.jp

・この資料には、パレモ・ホールディングス株式会社(事業会社(株)パレモ含む)の現在の計画、確信及びその業績に関する将来の見通しが含まれています。

・これらの見通しは、将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響をあたえるリスクや不確実な要素が含まれています。実際の業績は、様々な要素により、これらの見通しとは異なる場合があります。